

今月のことば

「情動を制しつつ主張を伝え、相手と前向きに論じ合う」

校長 末永幸寛

1 今学校は

一年の計は元旦にあり、一月の計は一日にあり、一日の計は早朝にあると前回書きましたが、早くも1月が終わろうとしています。3学期は時間がたつのが早い学期です。新2年・新3年生への、そして3年生は社会へ羽ばたく意識付けの学期として0学期と考えています。1・2年生は、マラソン大会・進路講演会・学年末考査と続きます。3年生へは、社会人になる準備や心構え、郷土を思う心を育て送り出したいと考え、魚おろし教室・郷土料理教室、租税教室、保健指導も行っています。ご家庭でもご協力をお願いします。また、郷土料理教室・マラソン大会では、かあちゃんの会・漁業指導士の中村さんをはじめ関係機関・PTA役員・保護者、地域の皆様のご協力に感謝申し上げます。これから、入試に向けて必死に取り組んでいる3年生への応援もお願いします。

現在建築中の小中学校新校舎は、落ち着いた外観で完成が楽しみです。一方、高校校舎はシートに覆われています。昭和53年に教室棟・管理棟が完成しそれから約35年経過しました。外壁と屋上防水の補修工事を行っています。駐車等でご不便をおかけします。3月中旬には完了予定です。

2 「情動を制しつつ主張を伝え、相手と前向きに論じ合う」

「自らの怒りを見極め、冷静に伝える」を掲げました。

1月の新聞に『口論の作法』として8回の特集がありました。その中に、自分の怒りを上手に制する。感情を爆発させると相手も心を閉ざしてしまう。状況に応じて怒りを上手に表す研修として『アンガーマネジメント』という技法が紹介されていました。このような研究会や研修が生まれるのは、人との接し方の未熟さや、口論の未発達があるからであろうと思われます。

仲間はずれにならないようにと周囲に気を使って生活する人、子どもがケンカをしないように育てる社会、仲良しの押しつけで本音が言えないようになってきているのではないかと思います。また、口論を避け、その場の雰囲気に合わせて発言したり、行動したりする傾向も強くなっているのではないのでしょうか。

暴言はもとより人格を否定する発言はせず、落ち着いて言いたいことを簡潔に述べ、相手の言い分を聞き、正しいと思ったら受け容れる。本音をぶつけ合い、合意できなくても「話し合えて良かった、本音がわかって良かった」とお互いに認め合うことで理解を深め、友情や信頼が生まれることを私たちは経験してきました。

言葉に出し、思いを伝え、お互いの理解と人間関係を深めていく正しい口論を体験すること。必要以上に落ち込まない心の強さを備えさせることが必要と感じています。将来、子どもたちは親元を離れ、知った人がいない中で、「自分の居場所をどう作るか」大きなカルチャーショックを受けます。社会の中で自立し、必要とされる人間となるよう、協働して育てていかなければならないと思っております。なお、このシリーズの中に『ケンカの3か条』というルールを決めて、折り合いをつける技術を体得させる幼稚園の取り組み記事もありました。

2月行事予定

日	曜	行事予定
7	木	1・2年 学年末考査時間割発表 進路講演会
9	土	進研マーク模試(2年 ~10日)
11	月	建国記念の日
14	木	1・2年 学年末考査(~19)
27	水	大掃除・卒業式会場設営
28	木	小中高一貫教育修了証書授与式 同窓会入会式 卒業式予行
		3年自宅学習期間 1/30~2/26

球技大会

12月20日、本校体育館において、校内球技大会が行われました。

今回はバスケットボールが行われ、華麗なシュートや、息のあったパスワークなどを披露してくれました。優勝は男女とも3年生でした。



3年 卒業レポート発表会

12月18日、本校視聴覚室において、3年生による卒業レポートの発表会が行われました。3年間の「総合的な学習の時間」を通じて学んだ、調査・研究・発表といった力を披露しました。

吹奏楽部 クリスマスコンサート

12月23日、本校体育館内格技場にて吹奏楽部がクリスマスコンサートを行いました。

外はでは雪がちらつくなか、「赤鼻のトナカイ」など、クリスマスソングを中心に演奏し、大いに盛り上がりしました。

3学期始業式

1月8日、第三学期始業式が、本校体育館で行われました。校長先生の「一年の計」についてのお話、生徒たちは自らの「計」について改めて向き合っていた様子でした。



センター試験

1月19日・20日と大学入試センター試験が行われ、本校からは6名が挑戦しました。

当日は天候にも恵まれ、最後までしっかり向き合ってくれました。引き続き、進路決定まで学校一丸となってまいります。

マラソン大会を行います

日時：1月29日(火)

距離：男子・9.1km 女子・5.2km

生徒が島内を駆け抜けます。暖かいご声援をお願いいたします。